

# 施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長 (幹事部局)	健康福祉部長 藤間 博之	電話番号	0852-22-5230
---------------------	--------------	------	--------------

## ①施策の目的等

施策の名称	<b>施策Ⅱ-3-3 医療従事者の養成・確保</b>
目的	○適切な医療を提供するためには、医師、看護職員をはじめとした医療従事者の確保が最も重要であり、優れた医療従事者の養成・確保に努めます。

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
しまね地域医療支援センターへの医師登録者数	目標値	/	88.00	108.00	122.00	140.00	人	県内養成機関を卒業した看護職員の県内就業率	目標値	/	70.00	70.00	70.00	70.00	%
	取組目標値	/			145.00	174.00			取組目標値	/					
	実績値	53.00	98.00	117.00	142.00				実績値	71.00	80.70	70.90	74.70		
	達成率	/	111.40	108.30	98.00				達成率	/	115.30	101.30	106.80		
	目標値	/					%		目標値	/					%
	取組目標値	/							取組目標値	/					
	実績値								実績値						
	達成率	/							達成率	/					
定性目標	平成24年度～平成27年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	しまね地域医療支援センターへの医師登録者数の取組目標値については、目標を上回ったため、地域枠出身者や奨学金等の貸与を受けた医師について全員登録を目指すこととし、H26年度に見直している。 県内養成機関を卒業した看護職員の県内就業率については、今後、大都市における看護職需要が高まり、新卒看護師等の県外流出圧力が高まることから、引き続き27年度目標値70%に向けて取り組む。														

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状（客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況）	<p>【医師確保】 医師の現員数は増加しているが、必要数も増加しており、充足率は78.4%(H26.10.1)であり、充足率に大きな変化はない。奨学金、研修支援資金を引き続き貸与するとともに、医学生に対しては島根大学地域医療支援学講座やしまね地域医療支援センターの取組みなどにより、県内勤務、医師不足地域に勤務する医師が増加してきている。しかしながら、医師不足、とりわけ地域偏在、診療科偏在の解消にはいたっていない。</p> <p>【看護師確保】 修学資金を引き続き貸与することなどにより、県内就業率は目標値を上回り、県内に勤務する看護師は増加してきている。</p>
---	---

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	B	<p>【医師確保】 医師の現員数は増加しているが、必要数も増加しており、充足率は78.4%(H26.10.1)であり、充足率に大きな変化はない。奨学金、研修支援資金を引き続き貸与するとともに、医学生に対しては島根大学地域医療支援学講座やしまね地域医療支援センターの取組みなどにより、県内勤務、医師不足地域に勤務する医師が増加してきている。しかしながら、医師不足、とりわけ地域偏在、診療科偏在の解消にはいたっていない。</p> <p>【看護師確保】 修学資金を引き続き貸与することなどにより、県内就業率は目標値を上回り、県内に勤務する看護師は増加してきている。</p>

## ⑤課題の認識

(1)平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<p>【医師確保】 地域枠や奨学金の貸与を受けた医師が毎年20名程度増えていることから、これらの医師が県内に軸足を置いてキャリア形成支援できるよう支援し、かつ早期の県内定着、医師不足地域での勤務を促進されるよう、取組みを推進する必要がある。</p> <p>【看護師確保】 施策の目標を達成していることから、引き続き県内就業の促進に取り組む。</p>

## ⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<p>【医師確保】 地域枠や奨学金の貸与を受けた医師の県内でのキャリア形成支援には、大学の理解、協力が不可欠であり、今後も大学との連携を一層強化し、これらの医師の早期の県内定着や医師不足地域での勤務が計画的に進められるよう、取組みを進める。</p> <p>【看護師確保】 新人看護職員の県内就業支援、離職防止のほか、潜在看護職員の復職支援の強化を図る。また、夜勤体制の見直しや長時間労働の削減、休暇取得の推進など、勤務環境の改善のため、医療勤務環境改善センターによる勤務環境改善の支援を行う。</p>
---------------------	--